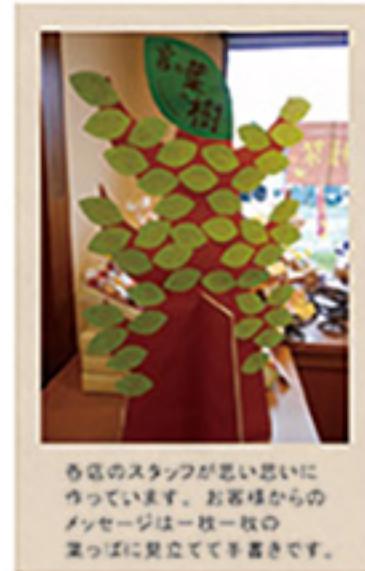


多くのお客様にアンケートにご協力いただき
本当に有難うございました。
心より感謝申し上げます。

各店の店頭にて設置させて頂きましたご意見箱へ、
たくさんのお客様から 27,338 件もの貴重なご意見をお寄せいただき
本当にありがとうございました。
頂戴しました多くのお声は、本社にて大切にお預かりし、
お客様からの教えとしてこれからに生かしてまいります。
日頃からご愛顧いただいている身近なさかえ屋で感謝の気持ちを
表したい思いから、それぞれのお店にてご意見等を掲示させて
いただいております。お立ち寄りの際にご覧いただけますと幸いです。
今後ともお客様に喜んでいただけるさかえ屋を目指して、
スタッフ一同一生懸命努力してまいります。
心より感謝申し上げます。



ことのはのき
言の葉の樹



お客様のご要望やご希望、嬉しい
お言葉、時にはお叱りもしっかりと受け
止めて、ひとつの大きな樹として育てて
いきたいという思いから、店舗スタッフが
手作りでつくった樹です。

さかえ屋からの季節のお菓子だより

SAKAEYA | TIME

2014
VOL. 4

どうぞ自由にお持ち帰りくださいませ。

秋になると無性に恋しくなる旬の素材が、おいしい
スイーツになって出揃いました！カボチャやさつま芋、
栗のもつ素材の力に、パティシエが自慢の腕を振るって、
ケーキやプリン、タルトやパイ…この季節ならではの
お菓子をつくりました。収穫の秋に感謝、そして
お客様へ、心からの感謝の気持ちを込めて。



旬の素材はそれだけでも美味しい、
だからこそ、もっともっと
よろこんでいただけるお菓子を。



感謝の気持ちを託した 秋のお菓子

あかね色の夕空、黄金色の大地のように、
秋の実りもおいしくおいしく色づきました。
にぎやかな顔ぶれ、その美味しさのひみつ。



パンプキンパイ

ハロウィーンのテーブルにはなくてはならない「パンプキンパイ」。
さかえ屋のこだわりは自家炊きの特製かぼちゃ餡。
「北海道産完熟えんずかぼちゃ」をやさしく裏ごしして、
自家炊きの白餡と合わせて練りあげます。さらにひと工夫、
自家炊きかぼちゃ餡にアーモンド粉たっぷりのグマンド生地を合わせて、
味わいに深みを。丁寧に切り目を入れたパイ生地の網目をもって
かぶせて、表面がきつね色になるまでこんがりと焼きました。



りんごのバーム

これから寒くなる季節、元気に駆け回る子供たちの頬ほりんごのはっぺ。そんなりんごがみんな大好き、まるごとかじっても十分おいしいけれど、こだわりのお菓子を楽しんでいただきたいと作ったのが「りんごのバーム」です。さかえ屋で受け継がれてきた森の手バームの伝統製法を活かしての開発です。くるくると回るバームに、ひとつ重ひとつ重、一層一層、形を整えながらりんごに合わせたまるい形へと生地を焼きあげます。窯の前ではパーティシェやしゃりつきっきりです。火加減の調整や自利きに余念がありません。コンポートしたジューシーなりんごをやさしくバームで包んで焼きあげたら、仕上げはホワイトチョコレートでコーティング。すべてのうまいを閉じ込めました。

スイーツとの相性がいいの
安納芋は種子島産。
水分たっぷり、焼くと
クリームみたいにとろっと。



「おいしいお菓子と元気な笑顔をお客様にお届けしたい」。
さかえ屋のスタッフはひとりひとりがそんな気持ちで
毎日を過ごしています。
このコーナーでは、輝いているお店やスタッフたちを
ご紹介いたします！



【写真右】店長の池田みちるさん（右）と
長年お店を支える井上さん（左）
とこの日はお休みの若松さんの
ベテラン3人組がお店を切り盛り。



大収穫祭を開催中。
店内は秋の彩り満載！
ハロウィンの楽しい
お菓子も！！



「私たちの元気の源です。」
「家族みたいに温かい方ばかり
毎日の会話が
星野原店の店長歴3年目、さかえ
星野17年目のペテラン店長。
バスの待ち時間に必ず来て下さる
お客様、自転車に乗りながら窓越し
に『後で来るよ』と手を振るお
客様。「商店街に来るとさかえ興
さんに必ず立ち寄らないかんもん
ね」とおっしゃるお客様ばかりが
そう。

「星野原店24年の歩みはお客様
の歩みそのもの。私たちスタッフ
もお越しいただくお客様と一緒に
時を積み重ねてきたような気持ちで
です」と星野店長。この家族のこと
とやう自分のことなど色々とお話を
くださるお客様との会話が何よりも
大切。

「おひとりおひとりのお話をじつ
くりと受け止めて、お立ち寄り下
さるお客様がほっとするお店を作
りたいんです」。そう話す店長歴17年
のスタッフのチームワークは底力！
笑顔もさらさらと輝いています。